

報道関係者各位

令和6年3月12日

## 舞鶴引揚記念館 学生語り部 管外活動(東京方面)の実施について

舞鶴引揚記念館では学生語り部の様々な活動を通じて、次世代への継承をはじめ、引揚記念館の国内外の認知度向上、平和の尊さの発信などに積極的に取り組んでいます。

この度、学生語り部の市外での活動として、下記のとおり、シベリア抑留や引き揚げをテーマにした総務省所管施設の平和祈念展示資料館との交流や以前から学生語り部と交流・助言等いただいている多摩大学・小林昭菜准教授のご協力をいただきデジタル技術を活用した歴史の継承についてのワークショップ、ウクライナの学生との交流などを実施することとなりましたのでお知らせします。

1. 日 時 令和6年3月24日(日)～3月26日(火)
2. 訪問先 平和祈念展示資料館、多摩大学、東京都慰霊堂・東京都復興記念館 他
3. 内 容 【平和祈念展示資料館】(総務省所管):
  - 抑留体験者(西倉勝氏)から聞き取り
  - 学生語り部の取り組み報告
  - 増田平和祈念展示資料館館長の講話と意見交換
  - 館のイベントへの参加 ほか【多摩大学】:メタバースを活用した次世代型継承のワークショップ
  - 多摩大学附属中高生徒との交流・意見交換
  - ウクライナの中学生とリモート交流、※状況により変更あり【東京都慰霊堂・東京都復興記念館】:東京大空襲の学習
4. 参加者 学生語り部 18名(中学生12名、高校生6名)
5. その他
  - 3月16日(土)10:00～16:00に事前学習会を引揚記念館で開催します。
  - 令和5年度の管外活動としては2回目。令和5年7月に「人道の港敦賀ムゼウム」(敦賀市)で活動している敦賀高校生とワークショップなどで交流をしています。



SDGs 未来都市

舞鶴引揚記念館(担当:長嶺・山下・萩田)

〒625-0133 舞鶴市字平 1584

TEL:0773-68-0836、FAX:0773-68-0370

E-mail:hikiage@city.maizuru.lg.jp